

平成30年11月8日

北九州市立上津役中学校

校長 森 隆

No. 7

平成30年度 上津役中だより

菊花薫る時節となりました。保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。さて、体育大会、文化発表会という大きな学校行事も終わり、生徒たちは日々の授業や家庭学習にしっかり取り組んでいます。特に3年生は、自分の進路選択に大きくかかわる高校入試に向けて、さらに真剣に勉強していきます。私は、3年生のこの時期の顔つきが大好きです。なぜなら、毎日必死で勉強に取り組み、自分の目標や夢に向かって努力している人の顔は、輝きを放っているからです。苦しさを乗り越え、努力している時こそ、人は成長し強い心が培われます。3年生の皆さんは、高校合格のための苦しい入試勉強（ピンチ）を自分が成長できるチャンスだと思って頑張りましょう。「ピンチはチャンス」です。

地域の行事、大原文化祭が行われました。

10月6日（土）・7日（日）、大原市民センターで「第20回大原文化祭」が開催されました。地域の方々や大原小学校の児童たちが大勢参加し、大いに盛り上がっていました。本校のボランティア部は、千本釣りやフルーツ釣りのゲームコーナーの仕事を手伝いながら地域に貢献し、楽しい時間を過ごしました。また、本校生徒が制作した人権作品のポスターも展示してもらって、地域の方に観て頂きました。

市民センターに飾られた本校生徒の「人権作品」



先生方も勉強しています！

◇ 技術科西先生の全員研修会

9月26日の5校時に、北九州市西ブロックの技術・家庭科（技術分野）の全員研修会が、本校パソコン教室と図書室で行われました。西先生は、3年1組の生徒に「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」という単元の授業を行いました。コンピュータを理解し上手に活用していく力を身に付けることは、これからの社会を生きていく生徒たちにとって、極めて重要なことです。そのために西先生が北九州市の技術科の先生方の先頭に立って、時代の最先端に行く研究授業を行いました。授業後に協議会を行い、多くの先生方と話し合い勉強しました。

次世代を担う生徒と多くの先生方が、プログラミングの最先端の学習を行いました



この取り組みは、本校生徒そして北九州市の生徒が成長していく上で、非常に大切なことなのです。

◇ 松村先生のモデル授業

9月28日の6校時に、本校の松村先生が、1年2組の生徒に社会科のモデル授

松村先生の説明に、真剣に聞き入る生徒たちと先生方



業を行いました。若手の先生方に対して、良いモデルとなる授業を実践してくれました。先生の表情や説明の仕方、黒板の板書や生徒へ問いかけなど様々な工夫がなされた素晴らしい授業でした。授業は、「ロシアのヤクーツクの住居は、なぜ高床式のビルが建設されるようになったか」というめあてでしたが、生徒がそのことについて、真剣に考えて話し合い、先生の話を食べるように聞く姿を見ることができました。見学した若手の先生方にとっては、今後の授業に生かされる授業でした。放課後の協議会の中で、参観した先生方が質問をしたり、松村先生からの授業のポイントを聞いたりして、しっかり勉強しました。

◇ 吉田先生と原田先生の研究授業と協議会

10月17日(水)の6校時に、吉田先生は1年3組の国語の授業を、原田先生は1年5組の英語の授業を行いました。2クラス以外は、学校の生徒は全員下校し、

吉田先生の授業：分かり易い板書(左)とふせんを使っての班での活発な話し合い活動(右)



全員の先生方が2グループに分かれて授業を参観しました。吉田先生の授業は、

「自分の意見に、より説得力をもたせるために、グループでアドバイスをしあい、自分の意見を加筆・修正する。」というめあてでしたが、吉田先生がわかりやすい例を挙げて説明するので、話し合い活動も活発に行われました。生徒たちは、自身で書いた文章を友人に褒めてもらったり、良いアドバイスを貰ったりして、充実した楽しい授業となりました。また、原田先生の授業は、「身近な人について英語で紹介しよう」というめあて

でしたが、生徒たちは難しい英語で

原田先生の授業：「身近な人を英語で紹介しよう」と、楽しそうな話し合いと練習風景



の紹介をなんとか相手に伝えようと真剣に話し合い、練習していました。原田先生の日頃からの笑顔や優しい声掛けで、友達同士の関係がと

ても温かい雰囲気になっているので、失敗もカバーし合って、身近な人について紹介しているのが印象的でした。

6校時の研究授業の後、図書室にて全職員で校内研修会を行いました。吉田先生と原田先生の授業を参

班ごとに話し合った内容を、班を代表して、中山・大村先生が発表している様子



参観された先生方の2グループを2つに分け、計4グループで話し合いました。先生方も「生徒が生き生きと主体的に学ぶ場面を位置付けた授業の工夫」というテーマで、授業で生徒の皆さんが話し合うのと同じように、自分の思ったことを付箋に書いて、意見を出し合いました。やはり先生方



先生方も「生徒が生き生きと主体的に学ぶ場面を位置付けた授業の工夫」というテーマで、授業で生徒の皆さんが話し合うのと同じように、自分の思ったことを付箋に書いて、意見を出し合いました。やはり先生方

は、指導者のプロですから、非常に活発な意見交換がなされ、吉田先生と原田先生はもちろん、他の先生方にとっても今後の授業に役立つような話し合いになりました。

農村宿泊体験学習に行ってきました！

2年生が、10月9日～11日の2泊3日で、大分県宇佐市安心院町に、農村宿泊体験学習に行ってきました。上津役中学校は「安心院町の農村宿泊体験学習に行った回数が10回目」ということで、宇佐市長のご挨拶やくす玉割りなど、盛大な歓迎式を催してくださいました。私は、その歓迎式の中で、安心院の受け入れ家庭の方々に「本校の生徒はとても素直で素晴らしい中学生です。愛情をもってご指導ください。」とお願いしました。実際に、受け入れて下さっている各家庭を2年の先生方と回っていきましたが、畑仕事や果樹園づくり、料理作りなど学校生活には見られない笑顔で、楽しんでいました。本校生徒の素直さに受け入れ家庭の方々も喜んでくださり、愛情たっぷりにかわいがってくださいました。

3日目のお別れ式では、受け入れ家庭の方々とお別れを笑顔で握手し挨拶したり、一緒に写真を撮ったりしていました。なかには、涙を流して別れを惜む姿もあり、印象的でした。生徒たちにとっては、学校生活では味わえない体験と人との温かい触れ合いを経験でき、また一つ成長できたと思います。





新人大会で、全力を尽くすからこそ、成長があります。

先月に引き続き、様々な部活動で新人大大会が開催されました。上津役中だよりの先月号で、「新人大会の結果を受けて如何に次年度の夏季大会へ生かしていくかが、ポイントです。」と書きました。現在、勝ち上がって市内大会へ進む部や敗退をバネに練習に励んでいる部、発表会を前に必死で練習している部があります。どの部も熱い思いで練習し、本気で大会に臨む姿勢こそが、皆さんの成長で

中嶋さんの3Pシュート



大高さんのフリースローと花田さんのスクリーンアウト



す。そんな姿を見せてもらいました。

◇ 女子バスケット部

10月7日、若松中学校で、市民体育祭の市内大会が行われました。1回戦は、門司区1位で市内大会に出場してきた門司学園と対戦しました。上津役中の日頃の練習の成果が発揮され、70-21の圧勝でした。出場選手全員が伸び伸びとプレーし、自信をつけました。2回戦は、南区2位の広徳中と対戦しましたが、互角の戦いをしながら、徐々に相手のシュートが決まり始め、最終の第4ピリオドに入るときには10点差をつけられていました。持ち前の粘りで最後は3点差まで追い上げましたが、惜しくも40-43で惜敗しました。市内大会でベスト4に進出し、強豪の二島中との対戦を楽しみにしていただけに生徒たちの悔しさもひとしおだったと思います。この敗戦の悔しさをバネに12月8日から始まる新人区内大会に向けて頑張ってください。この試合で、また一つ成長できたと思います。

◇ 男子ソフトテニス部

10月7日、穴生ドームで、新人区内大会が行われました。3チームでの予選リーグは、浅川中と千代中と対戦しました。2試合共に3ペアが闘い、0勝3敗でしたが、その内1ゲームをとったり、ジュースの場面で惜敗したりして、諦めずに粘り強く頑張る姿勢が印象的でした。決勝トーナメントでは、リーグ3位の本校と別パート2位の本城中が対戦しましたが、2ペアが惜敗し上位進出はなりません。本城中との対戦も1ゲームをとったりジュースの場面であと1本が取れなかったりして悔しい思いをしました。この悔しさを今後の練習、そして夏の大会に生かしてもらいたいと思います。

左から若原君のフォアハンドドライブと山崎君、園山君のサーブ



チーム一丸となって応援する姿が素晴らしい



◇ サッカー部

古川君（左）のパワフルなゴールキックと山崎君（右）の華麗なドリブル



10月13日、浅川中学校で新人区内大会の1回戦が行われました。千代中と対戦し、1対0の完勝でした。千代中学校は部員が8名で、全員1年生なのですが、体格が

よく身体能力が高いので、しっかりディフェンスをしながら常にカウンターで得点を狙っていました。しかし、上津役中はその狙いを断ち切るような確実なディフェンスを行いながら、何度もゴールを脅かしました。前半は0-0でしたが、後半にセンターバックの渡邊君からトップの古川君に見事なスルーパスが通って、見事ゴールネットを揺らしました。2回戦は、区内大会で優勝した浅川中との対戦でしたが、持ち前の粘り強いディフェンスで、前半を0-0で折り返しました。後半に入って4点取られましたが、最後まで諦めずひたむきに戦う姿には、感動させられました。

◇ 演劇部

10月20日、上津役市民センターの「第6回上津役キッズクラブ」において、『上津役中学校演劇講演会』で演劇部による公演がありました。また、ボランティア部が演劇講演会の鑑賞者約60名の受付係として

参加しました。演劇部が演じた『どろぼう仙人』は、仙人になりすました泥棒が、母親の病気を治したいと強く願う

受付担当のボランティア部員



演劇部のカーテンコール



兄妹に、「この山の池で金の鯛を釣れ。それが薬だ」という。本当はこの山には魚などいないのに……。しかし兄弟は一心に糸を垂らし、いないはずの金の鯛を釣り上げる。

母親の元に走っていく兄弟の姿を見た泥棒は、自分たちも「その気になれば、なんでもできる」気持ちになるというお話でした。演劇部員の迫真の演技が始まると、寝そべったり動き回ったりしていた子どもたちも、身動き一つせず鑑賞していて、とても感動しました。最後に、出演者と裏方さんを含めた演劇部員が一堂にステージに立ちました。演劇を鑑賞した観客から大きな拍手が送られました。

学校外の練習で、頑張っている生徒たち！

◇ 体操競技

10月20日、九州国際大学付属高校体育館で、中体連新人体操競技の市内大会が開催されました。1年5組の清水麦珀君が「男子個人総合 1年生部」で、見事優勝しました。種目別でも「ゆか」「あん馬」「跳馬」「鉄棒」の1年生の部で全て優勝しました。輝かしい快挙に拍手を送りたいと思います。また、1年2組の柴田彪雅君は、男子種目別の「あん馬」で、準優勝を獲得しました。大会当日の前々日の練習中に怪我をして足の小指を骨折していましたが、それを押して出場しました。結果は、前述のとおりですが、次の大会では完治して素晴らしい演技を披露してくれるものと思っています。

清水君、柴田君共に、11月11日、福岡大学で開催される中体連新人体操競技の県大会に出場します。日頃の練習の成果を発揮できるように、頑張ってください。上津役中学校の仲間が、応援しています。

生徒会役員改選選挙が行われました。

10月27日の土曜授業で、本校体育館で立会演説会と生徒会役員選挙が行われました。立候補者と応援演説者合わせて18名の生徒たちが、全校生徒の前で演説しました。上津役中学校のみんなが楽しく有意義な学校生活を送れるために、頑張ってくれようとする人たちですから、全校生徒の前でも堂々と話しのできる生徒たちでした。役員に当選した人は勿論ですが、残念ながら当選できなかった人も本当に立派な生徒です。聞いている全校生徒の皆さんも、壇上に上がって力説する生徒の演説をしっかりと聞いており、素晴らしい立会演説会になりました。

当選した生徒会新執行部を紹介します。今後の活躍を期待しています。

生徒会長「鬼塚 翔太」 副会長2年「矢野 夏光」 副会長1年「中野 洋之」
書記2年「今井 愛果」 書記1年 「隈元 綾音」

文化発表会で、大きな感動をもらいました！

11月3日、本校体育館で文化発表会を開催しました。文化発表会の最後に講評として述べた通り、大きな感動をもらった文化発表会でした。発表会の冒頭と最後に述べた展示部門とステージ部門で講評させて

頂いた内容と重なりますが、再度伝えさせていただきます。紙面の都合上、全ての作品・パフォーマンスを評価できるわけではないので、特に印象に残ったものだけを厳選してご紹介させていただきます。

展示部門では、美術部の作品で2年生が金山川アートギャラリーに出品した「時のめぐりあい」は、圧巻でした。遠近法や色の濃淡などを工夫したそうですが、特に鳥居の立体感は見事で、鳥居をくぐって中に入りたくなるような作品でした。3年生が描いた「借りぐらしのアリエッティ」の原画を基に制作された作品は、少女の洋服が赤い羽根で作られ、洋服だけでなく作品全体に温かい雰囲気を出していました。

2年生美術の「マイ・マーク」では、ゴルフ道具と自分の名前を使って顔をイメージしながらデザインしている作品が目が留まりました。他の作品も自分の作品に愛着を持って制作していることが、感じられとても面白い作品ばかりでした。3年生の修学旅行作品では、俳句で「平等院 池に映った 別世界」「天高き 白鷺城に そよぐ風」「清水の ながき坂に 歴史を想う」などいろいろな思いの感じられる素晴らしい作品でした。

修学旅行新聞では、「関西新聞」と題した作品で、薬師寺のお坊さんの「面白い」「面倒」という話の内容を書いて、私も面白く読ませていただきました。上津役学級の作品では、「幾何学アート」で直線と円で描いた作品が美しく、とても印象的でした。どの展示作品もすべて一人一人の個性が発揮され、それぞれの思い・心のこもった作品でした。じっくり見れば見るほど味の出る作品でした。

ステージ部門の午前中は、まず生徒会のオープニングで「自分の個性を生かして、学年で、そして学校全体で団結して素晴らしいパフォーマンスを見せてください。」という

のが、印象的でした。それをその後の演技の中で、全校生徒一人一人が実行してくれたように思います。1年生の群読「教室は間違ふところだ」間違ふところを馬鹿にしない。笑わない。「間違ふって伸びていく」という内容が心に響きました。英語部の発表は、12歳の日系カナダ人の少女「セバン・スズキ」が「子ども地球環境会議の世界大会」で演説した内容でした。そして「キング牧師の有名な演説」内容を発表してくれました。英語を流暢に分かり易く、

1年合唱：指揮者を見ながら、真剣に歌う表情



1年合唱：指揮者を見ながら、真剣に歌う表情

のが、印象的でした。それをその後の演技の中で、全校生徒一人一人が実行してくれたように思います。1年生の群読「教室は間違ふところだ」間違ふところを馬鹿にしない。笑わない。「間違ふって伸びていく」という内容が心に響きました。英語部の発表は、12歳の日系カナダ人の少女「セバン・スズキ」が「子ども地球環境会議の世界大会」で演説した内容でした。そして「キング牧師の有名な演説」内容を発表してくれました。英語を流暢に分かり易く、

感情をこめて発表するために、何度も何度も練習したそうです。その甲斐あって心に響く発表でした。2年生の合唱は、「何億年もの歴史をもつ星、その星も人間も生きている限り輝いている」という想いで「COSMOS」を聴きました。そして「はじまり」では、回転し続ける地球、畑があり、川がある、地平線がある。そんな自然の美しさ、地球のすばらしさを感じさせてくれる非常に迫力のある合唱でした。合唱部は、NHKコンクールで銅賞を受賞しただけあって、美しい歌声が会場を包んでくれました。「G i f t s」、当たり前の方が幸せという歌で、「下弦の月に願う、あなたがあなたでありますように」という歌詞が心に残りました。そして、「心に花を咲かせよう」では、「希望の蕾を咲かせよう、優しいことは、強いこと」という歌詞と曲が重なって、私の心に花を咲かせてくれました。ダンス部は、ステージ上での部員たち一人一人の動きがとても格好良く、あんなに踊りたいと多くの生徒が思っていました。特に「la la la」では、音楽と一人一人の動きと全員の動きがそろっているので、美しく、心に響きました。

午後からのプログラムである演劇部の「ばけどる」は、とにかくキャスト一人一人の演技が抜群でした。「ばけもの」と「アイドル」をイメージして「ばけどる」。徐々にその内容が分かってきて、面白い作品でした。キャストだけでなく、照明や音響の働きも演技に合っていて、恐ろしさや悲しさの雰囲気を高めていました。暗転の時の裏方の動きも速く、演劇部の細かい演出に感動しました。最後の3年生の共同制作「明日への神話」は岡本太郎さんの渾身の作品です。原爆の恐ろしさや悲惨さに負けずに平和を願う人間のエネルギーを表していました。3年生一人一人が思いを込めて完成させたちぎり絵は、ステージで歌う3年生の後ろで、合唱を後押ししてくれていました。合唱「地球星歌」を聴いた後は、「私は祈る。平和のために。」という歌詞とメロディーがいつまでも頭の中に残り、平和への祈りが心に聞こえてくるようでした。

2年合唱：迫力のある歌声で心に響いた



合唱部：美しい歌声が会場を包み込んだ



ダンス部：音楽のリズムに合わせて対照的な動きに拍手



3年合唱：「明日への神話」をバックに熱唱。平和の祈りが会場全体に伝わった



ステージ部門のプログラムでは、生徒の努力・練習の成果を学年や部活動で表現してくれました。そして、世界の平和と地球の美しさを感じさせてくれる素晴らしいパフォーマンスでした。